

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育サービス
事業所名	社会福祉法人 恩徳寺会 玉野浦保育園
代表者氏名（管理者）	施設長 川口 弘子
法人名	社会福祉法人 恩徳寺会
定員（利用人数）	令和7年利用人数 5歳児9名 4歳児11名 3歳児13名 2歳児12名 1歳児12名 0歳児3名
施設・事業所所在地	大津市玉野浦12番1号
T E L	0 7 7 - 5 4 7 - 3 9 0 0
F A X	0 7 7 - 5 4 7 - 3 0 6 0
電子メール	tamanoura@mnet.ne.jp
ホームページアドレス	http://www.ontokujikai.com/

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	公益社団法人 滋賀県社会福祉士会
評価実施期間	令和8年 2月9日・10日

3 評価の概要

○ 総合評価

玉野浦保育園は、社会福祉法人 恩徳寺会が平成25年4月に大津市稲津にある田上保育園の姉妹園として、瀬田川湖畔夕照タウン内に開園しました。定員60名という少し小さな規模で、家庭的な保育園です。大津市玉野浦と交通の便や立地がよく、3階建てで清潔な園内と、園庭には畑もあり外遊びで体を動かして遊べます。

法人の理念「子どもの人権や主体性を尊重し、児童の幸福のために、保護者地域社会と力を合わせ、児童の福祉を積極的に増進し、合わせて家庭支援を行う。」にある通り、仏教保育を軸に地域保育施設として意義と特徴を自覚し、保育園児・保護者一人ひとりを尊重したあたたかい保育園となっています。玉野浦保育園の保育目標である「生き抜く力の基礎を持った子ども」元気な子ども・仲の良い子ども・考え、豊かに表現できる子どもになってくれるように、保育士が分け隔てなく丁寧な言葉と態度で園児や保護者と関わり、児童福祉法に基づいた豊かな愛情を持った保育が実践されています。

特に評価の高い点

【良い点】

1. 仏教保育

仏教保育として、仏教の精神を理想とし、それを生活態度として実践させていく保育ができており、「こころ」を育てることを目標とした関わりがなされています。衆会や報恩では毎月の徳目や日々を有り難く振り返る言葉が伝えられています。職員の仕事に対する姿勢と心構えで、人間形成のいちばん大切な基礎づくりの時期にある乳幼児期に関わる責任の重さが明記され、豊かな人間性が育つように情緒が安定した状態で日々過ごせるように保育されています。職員一人一人がお互いの専門性を尊重し、チームとして連携し保育園児や保護者の思いに即して日々研鑽に努められています。まだ言葉が話せない年齢の子どもたちにも自己決定ができるように、日々の小さな決정을積み重ねることでその表情を読み取り、少しでもより良い保育につなげていこうとする感性豊かな関わりができています。

2. 個々の園児に応じた個別体制

個別指導計画の策定：指導計画策定の責任者が職業分掌で明確になっており（主任保育士）適切なアセスメント手法により実施されています。アセスメントには、基本情報、思いやニーズ等細かく読み解き、今何を求めているか、周囲の環境は適切か等様々な角度から丁寧に行われています。個々の状態や特性に応じて保育できるように、園児の状況を十分に把握したうえで個別指導計画が作成されています。

1月から3月に翌年の指導計画を作成するための会議を持たれていますが、毎月の会議や日々の園児管理システムやケア記録を振り返りながら計画されています。アセスメントに関することは把握したときに随時記録され、変化があったときにはもちろんのこと職員が気づいた発達の姿も都度記録保育に反映されています。

関係機関との連携：地域の関係機関とも必要な情報を適宜連携しており、風通しの良い連携体制が構築されています。

記録管理：毎日の保育指導は詳細に記録・管理されており、職員間で懸念事項や気づきを常時共有できる仕組みが機能しています。

3. 家族との連携

入園時に配布される「玉野浦保育園のしおり」にて、すべての情報は網羅されていますが、保護者だけが見られるアプリで日々の保育の様子をいつでも閲覧可能となっている。苦情や相談事を言いやすい雰囲気づくりに努めているが、アプリ内にも要望や連絡事項を入力できる欄があり、電話するほどでもないことを気軽に入力できる。時代に合わせた園児管理システムや、送迎時に保護者のいつもと違う様子を感じそっと声を掛けてお話を伺う等、保護者に寄り添った保育を実践されています。

4. 職員の資質向上と良好な職場環境

継続的な研修：保育指導の質の向上に直結する、年間を通じた研修機会が豊富に用意されています。研修内容は倫理、危機管理、事例検討など多岐にわたる分野を網羅しており、職員が幅広い専門知識を習得できるよう配慮されています。職員の資質向上に向けた取り組みが確立されています。

温かい職場環境：職員間の信頼関係が良好であり、上司との垣根もなく困った時や迷った時に気兼ねなく相談できる環境が整備されています。園内見学の際の職員の様子や面談で、心理的安全性の高い職場であることが感じられました。

5. 整備された生活環境

施設は三階建て、街中にある保育園らしくコンパクトな作りになっているが、中に入ると十分な広さがあり、園内どこも大変清潔で歩きやすく、とにかく気持ちが良い空間でした。水回りだけは早朝に業者に掃除に来てもらっているが、その他は清掃のスタッフもいない中、清潔な生活環境を保持し続けることは容易ではないと思いますが、職員一人ひとりが職場を大切に思うからこそ実現していることだと感じます。

○ 改善を求められる点

玩具等の整理整頓

子どもたちが危なくないように配慮は十分になされていますが、棚の上に物が置きっぱなしになっている部屋も見られ、気になりました。一度整理整頓を徹底すれば後は元の場所に戻すだけです、より一層の保育の質の向上に期待します。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

2013年（平成25年）4月に当園開設以来、今期初めて第三者評価を受審する機会をいただきました。

当日は、前日からの寒波の影響による積雪もあり交通の状況が大変混乱していた中、評価調査者の皆様に予定通り、ご来園いただき受審することができました。関係者の皆様のご尽力に、改めて感謝申し上げます。

2日間に渡り、評価調査者の皆様とともに「保育所サービス自己評価」の1～65項目（全358項目）について、当園の取り組み状況を振り返り、確認することができました。第三者評価の実施目的の通り、保育の質の向上、継続的改善を目的とする大変意義深い機会をいただけたことを痛感しております。

358項目の評価基準のうち、自園において明確な判断ができていなかった35箇所の着眼点については、取り組みを分析し実施できていると評価いただきましたが、設備関連を除く6箇所の着眼点については改善の余地があると評価いただき改めて認識することができました。

今回の評価により、園独自が判断する評価基準が適切であるかどうかについて十分に考察いただき、取り組みの実際を「浮き彫り」にさせていただくことで、具体的な改善点に気づかせていただくことができました。

また、評価だけにとどまらず、園の魅力も引き出していただき、保育の素晴らしさを再確認し、士気が高まる多くの助言もいただくことができました。

改めまして、評価調査関係者の皆様にお力添えいただきましたことを心より感謝申し上げ、今後は、取り組み評価を判断する根拠について十分な分析をし、取り組みの継続的改善を目指し、職員一同誠意をもって温かい保育に尽力してまいりたいと思います。